

## 大野市保健対策推進協議会・第2回健幸おおの21策定委員会

日時) 令和8年8月4日(火) 午後7時～午後8時20分

場所) 結とぴあ 301号室

### 1 開会

### 2 副会長選出

副会長：梅崎委員（大野市食生活改善推進員連絡協議会）

### 3 会長あいさつ

会長：鳥山委員（大野市医師会）

### 4 議事

#### (1) 令和7年度保健事業実施状況について 【大野市保健衛生の統計】

○事務局：大野市保健衛生の統計に基づき説明

##### 【主な意見等】

- ・健診の受診率が低下傾向であるが、どのように考えるか。  
⇒国保の担当者とともに、受診歴に応じた受診勧奨を行っている。がん検診についても、ターゲットを絞った個別の受診勧奨を行っている。まだまだ力をいれていかないとはいけない。
- ・みなし健診の方は具体的にどの程度いるのか。  
⇒国保の担当者に確認し、報告する。制度が始まったばかりで多くはない。

#### (2) おおのヘルスウォーキングプログラム成果報告 【資料1】

○事務局：資料1に基づき説明

【主な意見等】 特になし

#### (3) 第5次健幸おおの21（骨子案）について 【資料2～5】

○事務局：資料2～5に基づき説明

##### 【主な意見等】

- ・たばこの吸入機会が増えていることに対して、どのようにアプローチしていくかが課題としてある。
- ・自殺者数の推移が直近だと飛び抜けて高いが、なぜか。  
⇒人口が少ないこともあり、数件で大きく反映してしまう。今後、要因の分析をしていく必要がある。

- ・減塩の目標について、具体的な数値がないと行動につなげにくい。  
⇒個人ごとの塩分摂取量を把握することは難しく、アンケート調査で年代別の傾向を評価している。リスクの高い人への検査キット配布等で減塩への意識づけを行っている。広く実施するにはコスト面の課題がある。
- ・大野市は小規模企業が多いため、ストレスチェックの実施やメンタルヘルス対策等について計画に盛り込んでほしい。
- ・特定保健指導実施率が令和6年度に上昇した理由は。  
⇒従前は後日来庁方式により行っていたが、令和6年度から、前年度の対象者を中心に健診当日に個別指導を実施する運用へ変更した。その結果、実施率の向上につながったと考えられる。
- ・熱中症は今後より気をつけないといけない項目であると思われるため、次の計画で触れるべきである。
- ・ICT機器の普及に伴い、夜間のインターネット利用や、SNSによるトラブル・いじめが課題となっている。計画で検討してほしい。
- ・交通手段がなくて医療機関を受診できない方に対しての施策があればお願いしたい。
- ・幼少期のむし歯予防を推進することが将来的な口腔健康の維持につながる。乳幼児からの予防・教育を継続していくことが望ましいと思う。
- ・食生活改善推進員の活動は、関係機関の協力を得ながら進めている。学校においても食育を学ぶ機会の確保をお願いしたい。
- ・「めざす姿」に「自然に健康になれる環境づくり」とあるが、「自然に」とはどういう意味か。何もしなくても健康になれるように受け取れる。  
⇒健康につながる行動がとれる仕組みづくりや環境づくりを意味している。しかし、「自然に」という表現では疑問を持つ方もいると思うため、次回までに検討する。

## 5 閉会